

性別に違和感がある 子どもたちと学校

日時：2022年9月15日（木）13：00～14：30

場所：関西大学千里山キャンパス 尚文館1階 マルチメディアAV大教室

講師：康 純（非常勤研究員）

トランスジェンダーをはじめ、セクシュアリティのあり方の多様性は時代や地域を越えて普遍的なものであることが知られている。しかし、現在でもトランスジェンダーを含む、いわゆるセクシュアル・マイノリティとされる人への否定的な意見もあり、多様なセクシュアリティを尊重している社会とはいえない。

保育園や学校を含めて男女に二分化する文化があり、出生時に割り当てられた性別に振り分けられる。自分の気持ちを家族に打ち明けられたとしても、打ち明けられた家族が拒絶的に対応することもあり、子どもは自分の気持ちを表現できなくなってしまう。

このようにジェンダーが多様な子どもたちは家庭内でも社会生活の中でも非常に強いマイノリティ・ストレスにさらされながら、周囲の目を気にして、自分らしさを表現してもいいのか、抑えこまないと受け入れてもらえないのかと毎日葛藤しながら生活している。

子どもが表現するセクシュアリティを肯定し、そのセクシュアリティを受け止めるよう家族を始め保育園や幼稚園、学校に働きかけ、子どもが自我を涵養しながら豊かに成長していくことをサポートすることが必要である。

●聴講無料
（定員80名／先着順）
＜事前申込制＞

人権問題研究室ホームページ トップページ (<https://www.kansai-u.ac.jp/hrs/>) にある「新着情報」内の特別講演会案内ページの申込フォームから事前に受講申込をしてください。定員になり次第、受付を終了します。

※受講申込にあたっては、以下の〔新型コロナウイルス感染予防対策〕にご留意のうえ、ご理解とご協力をお願いいたします。

〔新型コロナウイルス感染予防対策〕

- 受講者はマスクを必ず着用してください（マスク着用でない場合、受講はご遠慮ください）。
- 受講者は受付で手指消毒用のアルコールにて消毒してください（会場内は事前に消毒を行っています）。
- 座席は間隔を空けて設定いたします。また演台に近い座席は使用しません。
- 換気のため、会場の出入口のドアは講演中も開放いたします。
- 三密対策として、会場内やロビーでの談笑はご遠慮ください。
- 当日、体調不良の方、特に喉の痛み、咳、および熱のある方（体温が37.5℃以上の方）の受講はご遠慮ください。当日は入場時に検温を行います。
- 参加者に感染者が発生した場合は必要に応じて、保健所など公的機関へ氏名および連絡先の情報が提供されることがあります。
- 接触確認アプリCOCOAのインストールを推奨します。
- 感染拡大の際は、講座の開催を中止する場合があります（その場合、受講申込者に連絡いたします）。

* * *

●手話通訳が必要な場合は、9月1日（木）までに人権問題研究室へメールにてご連絡ください。
(jinkenken@ml.kandai.jp宛て)



主催 関西大学人権問題研究室

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 阪急千里線「関大前」駅下車

Tel 06-6368-1182 Fax 06-6368-0081

ホームページ <https://www.kansai-u.ac.jp/hrs/>